



2005 ITU International Triathlon Event Wakayama

2005 ITU インターナショナルイベント和歌山大会

2005 NTT Triathlon Japan Cup 3rd Stage

NTTトライアスロンジャパンカップ第3戦

19 June 2005



平野司、堂々の2連覇。女子はピップ・テイラーが優勝

2005NTT トライアスロンジャパンカップ第3戦和歌山大会は、ITU インターナショナルイベントとして6月19日(日)、和歌山県マリーナシティ特設コースで行われた。

午前10時ちょうどにスタートした女子は、最初からピップ・テイラー(オーストラリア)が飛び出した。すぐ後ろを、古谷あかね(トヨタ車体)、サラ・モニス(ポルトガル)、浅沼美鈴(愛知県協会)が追う展開。バイクに入ると、脚力にもものをいわせてテイラーが逃げると、モニスが脱落。古谷と浅沼がテイラーを追うが、バイク5周目に後ろの9名の集団が追いつき11名の集団で追うこととなった。一時は1分以上の差をつけたテイラーも、集団の追い上げで40秒差となってランへと入った。走りをはじめて2周目、大松沙央里(トヨタ車体)と上田藍(グリーンタワー・稲毛ITC)がテイラーの後ろ25秒まで迫るが、次第に離され、スイム、バイク、ランともにベストラップを取ったテイラーが優勝をさらった。レース後テイラーは、「楽に逃げたと思われるでしょうが、追い上げがすごかった。だから勝てたとも言える」と、喜びをあらわにした。2位には上田と競り合った大松が入り、「よくないレースが続いて、このレースで上昇のきっかけをつかみたかった」と、ホッとした様子だった。

午前11時15分スタートの男子は、昨年優勝の平野司(関西大学)がスイムから積極的に前に出た。続くのは山本良介(トヨタ車体)とジョー・カバレイロ(ポルトガル)。バイクにはいると、山本が序盤から一人で逃げた。しかし、バイク6周回目に後続の7名の集団に吸収され、この8名が一団となってランへと突入した。ランにはいると2連勝を狙う細田雄一(グリーンタワー・稲毛ITC)が積極的に飛び出し、2連覇を目論む平野司(関西大学)の前をいく。一時は差が開きかけたが、4周回目の終盤、平野が細田を逆転し、見事和歌山大会2連覇を遂げた。平野は、「勝つつもりで戦った。しかし、細田選手の走りが思ったよりよく、追いつくのがつらかった。ランの序盤は細田選手のペースに合わせて、どこで仕掛けるかを考えた」と、楽に勝てたのではないことを強調した。2位は、惜しくも2連勝をのがした細田が入ったが、「ちょっと終盤疲れがでた」と言いながらも、韓国・トンヨン大会、幕張大会と3連戦にも、好成績を残せたことに満足げだった。

なお、レースの様子はフォトギャラリーでご覧いただけます。

